

いちば 市場かわらがはな こだいかまあとぐん 古代窯跡群

●所在地／市場向井原 ●所有者／個人

自然の傾斜地を利用した全長 7 m の登り窯^{のぼ}で 3 基ある。それぞれに燃焼部・焼成部・煙道部があり、燃焼部は 150cm、幅 130cm、天井までの高さ 150cm である。

焼成部は 42～48 度の傾斜に 8～13 段の階段がつけられ、段の長さは 1 号窯では 1 段目が 150cm、8 段目が 80cm の隧道型^{ずいどう}をしており、窯の内部高は 80cm、窯尻は 50cm となっている。

8 世紀中頃のものと推定される重孤文^{じゅうこもん}の軒先瓦が出土した。

